

令和8年度

「運営に関する計画」

大阪市立築港小学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、全学年単学級で 1 学級 20 人程の小規模校としての特性を活かし、一人ひとりにきめ細かく寄り添う教育を推進している。昨年度の調査では、8 割以上の児童が「学校が楽しい」と回答しており、学校生活への意欲は高い状態にある。一方で、自己肯定感（自分にはよいところがある）の項目は 75.1%に留まっており、失敗を恐れて新しいことへの挑戦をためらう傾向が見られる。

これからの変化の激しい時代において、「確かな学力を身に付け、たくましく生き抜く力」を育むためには、まず子どもたちが「失敗しても大丈夫」という安心感をもち、自ら主体的に動き出すことが不可欠である。

そのため、今年度は図画工作科を研究教科に据え、自由な表現活動を通じて「自分の意見を堂々と発信する力」を養う。作品の鑑賞や対話の場を意図的に設け、お互いの良さを認め合える「仕掛け」を工夫することで、自己肯定感の向上を図る。

また、本校の強みである「芝生の運動場」を最大限に活用し、遊びやスポーツを通じて健やかな体と心を育む。さらに、たてわり班活動や地域の方々との交流を通じ、多様な世代と関わる中で人間性を備えた、たくましく生き抜く子どもたちを育てていきたい。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和 11 年度末までに 87%以上にする。

○小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和 11 年度末までに 88%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和 11 年度末までに 85%以上を維持する。

○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和 11 年度末までに 90%以上にする。

○学校アンケートにおける「歯磨きの大切さがわかり、朝・昼・寝る前にていねいに歯を磨いている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和 11 年度末までに 90%以上を維持する。

【学びを支える教育環境の充実】

○授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 70%以上を維持する。

○教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を令和 11 年度末までに 20 時間にする。

○学校アンケートにおいて、「地域の人と一緒にいる活動が好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和 11 年度末まで 90%以上で維持する。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 83%以上にする。

○小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 77%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 83%以上にする。

○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 94%以上にする。

○学校アンケートにおける「歯磨きの大切さがわかり、朝・昼・寝る前にていねいに歯を磨いている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友達と共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。

○教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 22 時間以下とする。

○学校アンケートにおいて、「地域の人と一緒に行動が好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上で維持する。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立築港小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>① 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。(令和7年度 81.8%)</p> <p>② 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。(令和7年度 75.1%)</p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・失敗を恐れて意欲的に活動することが難しい児童が多いので、失敗しても大丈夫、どうすればよかったかななどの振り返りを行うことで成功体験が詰めるような声かけをし、学校が安心できる場になるようにしていく。 ・学年だけの交流にとどまらず、たてわり遠足を行ったり、授業や各委員会活動の中でも異学年交流(たてわり班活動やペア学年)を意識した取り組みを行う。 	
<p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。(令和7年度 84.3%)</p>	
<p>取組内容②-1【豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図画工作科の鑑賞指導、道徳教育、キャリア教育の充実や異学年との取り組みを通じて、自己肯定感・自己有用感の向上に努める。 ・「いいところみつけ」「幸せ宝箱」の実践を通して、自分の良いところに気付けるようにする。 ・歌集を用いて、音楽の時間や、すきま時間などに歌を歌う機会を設けることで、豊かな心の育成を目指す。 ・「いのちの安全教育」の出前授業を実施し、自分の存在を大切にできるよう取り組みを行う。 	
<p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。(令和7年度 75.1%)</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
後期への改善点	

大阪市立築港小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>① 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。(令和7年度 81.9%)</p> <p>② 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を94.1%以上にする。(令和7年度 93.1%)</p> <p>③ 学校アンケートにおける「歯磨きの大切さがわかり、朝・昼・寝る前にていねいに歯を磨いている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上を維持する。(令和7年度 93.2%)</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 月に2度以上、朝の学習タイムで鑑賞の時間を設定し、どんな意見も受け入れられる安心感をもてるようにする。 朝の学習時間に反復練習することで基礎学力を定着し、自分の考えに自信をもって相手に伝えることができるようにする。 話し合い活動を通して、他者の視点を取り入れることで、自分の見方が変わることの楽しさを実感したり、自分の思考を深めたりできるようにする。 <p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。(令和7年度 81.9%)</p>	
<p>取組内容②【健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 集会の時間や休み時間にたてわり班やペア学年、全校児童などで体を楽しく動かす機会を設け、運動することが好きな児童が増えるようにする。 運動場に出にくい冬の時期は、なわとびタイムやかけあしタイムを設け、体育施設・体育用具を活用して運動を行う習慣を身に付けたり、進んで体力づくりに取り組んだりする機会を設ける。 芝生を定期的に整備し、休み時間などに鬼ごっこやボール遊びをすることで、児童が芝生の心地よさを感じながら、安全に遊ぶことができるようにする。 <p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を94.1%以上にする。(令和7年度 93.1%)</p>	
<p>取組内容③【健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歯みがきカレンダー、歯みがき強調週間、健康週間の取組を継続する。 健康週間(ノーメディアウィーク)にも、歯みがきの欄の振り返り視点(歯がつるつるになっている)等を取り入れ、ていねいな歯みがきにつながるようにしていく。 歯垢染め出しを全学年に実施し、「磨いた」から「きれいに磨けた」への歯みがき力のアップにつなげていく。自分の磨き方の癖を知り、歯垢のたまりやすい箇所を重点的に磨けるように意識づけしていく。 <p>指標</p> <p>学校アンケートにおける「歯磨きの大切さがわかり、朝・昼・寝る前にていねいに歯を磨いている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上を維持する。(令和7年度 93.2%)</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
後期への改善点	

大阪市立築港小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>① 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友達と共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 83%以上にする。(令和 7 年度 81.4%)</p> <p>② 教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 22 時間以下とする。(令和 7 年度 23 時間 47 分)</p> <p>③ 学校アンケートにおいて、「地域の人と一緒にを行う活動が好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上で維持する。(令和 7 年度 93.2%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習者用端末を活用して、自分と同じ意見や違う意見を見つけたり、協同的に学びあったりする場面をつくる。 ・学習者同士の回答を見る機能を使い、自分の考えや意見を、友達と共有したり、比べたりする時間を確保する。また、その成果物や資料を教職員で共有し、活用できるようにする。 ・ICTに関する教職員研修を行い、指導力を向上できるようにする。 <p>指標 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友達と共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 83%以上にする。(令和 7 年度 81.4%)</p>	
<p>取組内容②【人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議等の精選、週 1 回のゆとりの日の設定、スクールサポートスタッフによる業務削減、午後 5 時半に留守番電話設定をすることにより、時間外勤務の時間を削減させる。相談タイムを有効活用する。(令和 7 年度 23 時間 47 分) <p>指標 教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 22 時間以下とする。</p>	
<p>取組内容③【家庭・地域等との連携・協働した教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々と連携して文化や伝統を共に学び、計画的に活動を実施する。 <p>1 年・・・学習園 (ヒマワリ) と植木鉢植え (アサガオ) 2 年・・・学習園 (サツマイモ) と植木鉢植え (ミニトマト)、町たんけん、芋ほり 3 年・・・水上消防署見学、海遊館見学・アカデミー、そろばん教室 4 年・・・そろばん教室、ちりめんモンスター、福祉教育 (車いす) 5 年・・・たまねぎ収穫、着衣泳、伝統文化、サンタマリア号乗船、福祉教育 (手話) 6 年・・・たまねぎ収穫、着衣泳、キャリア教育、福祉教育 (認知症キッズサポーター育成)</p> <p>全学年・・・引き渡し訓練、築港らんらんらん、運動会、みかん狩り、すもう部屋見学</p> <p>指標 学校アンケートにおいて、「地域の人と一緒にを行う活動が好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上で維持する。(令和 7 年度 93.2%)</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
後期への改善点	